

# 令和5年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	(株)札幌都市開発公社	所管課	経) 商業・経営支援課
基本財産	520,000千円	記入者	担当 西出 電話 011-211-2372
設立年月日	昭和44年(1969年)5月31日	本市出資額	123,000千円 (出資割合 23.7%)
設立・出資目的	札幌冬季オリンピック開催に伴う地下鉄建設計画を契機に都心部の交通緩和、高度利用ならびに冬期雪害対策等を目的として、地下商店街と併せて公共通路・公共駐車場が建設されることとなり、これらの施設の建設及び維持管理運営を行うため設立された。	出資年月日	昭和45年(1970年)4月17日
代表者	代表取締役社長(常勤) 小西 正雄(市OB)	S44年5月	会社設立(本市からの出資なし)
主な出資者	① 札幌市 (23.7%)	S45年2月	増資に伴い、札幌市も出資(51,000千円)
	② 札幌商工会議所 (10.1%)	S46年11月	さっぽろ地下街開業
団体所在地	〒060-0052 中央区南2条東1丁目1番地14 住友生命札幌中央ビル2階 電話 011-231-6060	S52年8月	増資により、現在の資本金・出資額に至る
		H24年	開業40周年に向けた大規模改修工事開始
		H25年	大通地下駐車場改修工事竣工

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① さっぽろ地下街公共通路・店舗等賃貸管理 (6ページ)	② 駐車場賃貸業務 (7ページ)
公共地下通路及びそれに付帯する店舗等の防災面や通行の安全性を確保しつつ、天候に左右されることなく、安心して買い物や都心内拠点間通行ができる商店街として、都心部の魅力を高める。	都心部の中核となる駐車場として、買物客や観光客、ビジネス客といった幅広い利用者のニーズに対応し、利便性を高める。
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合	100.0% (主要事業支出合計 1,854,956千円 ÷ 総支出 1,854,956千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	公共地下通路及びそれに付帯する店舗、公共地下駐車場を安全かつ円滑に管理・運営しており、出資目的に見合う効果が出ている。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	防災訓練の定期的な実施や各種施設の適時適切な修繕により、公共地下通路や公共地下駐車場は安定的に管理・運営されている。

## 3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位:人)

役員	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期			
						10歳代	20歳代	30歳代	平均年齢	取締役	監査役		
常勤取締役	2	0	1	1	11	0	0	5	53.5 歳	2 年	R3. 6		
常勤監査役	0	0	0	1		6	21	10		4 年	R5. 6		
非常勤取締役			4								代表権のある役員 の就任年月		
非常勤監査役			2										
職員						職員総数の推移(人)							
常勤管理職	1	0	8	0	44	R03. 4. 1時点		44		R04. 4. 1時点		43	
常勤一般職	1	0	34	0									
非常勤職員													

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R3年度決算	R4年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	1,841,383	2,021,545	(100.0%)	
	経常収入 (a+f)	1,841,383	2,021,545	(+180,162)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	1,781,404	(+204,513)
			営業費用 (b)	1,756,253	(+98,703)
			うち販売費・一般管理費 (c)	133,940	(+5,245)
			うち人件費 (d)	244,483	(▲ 5,202)
			営業利益 (e)	25,151	(+105,810)
	営業外	営業外収益 (f)	59,979	35,628	(▲ 24,351)
	当期純利益 (g)	37,815	113,172	(+75,357)	
	貸借対照表	資産 (h)	5,685,434	5,812,979	(+127,545)
		流動資産 (i)	475,684	633,802	(+158,118)
		固定資産 (j)	5,209,750	5,179,177	(▲ 30,573)
		負債 (k)	2,053,893	2,099,466	(+45,573)
流動負債 (l)		547,078	541,100	(▲ 5,978)	
固定負債 (m)		1,506,815	1,558,366	(+51,551)	
純資産 (n)		3,631,540	3,713,512	(+81,972)	
資本金 (o)		520,000	520,000	(0)	
借入金残高 (p)	148,714	5,858	(▲ 142,856)		

#### R4年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	売上高は、空きテナントの解消により賃貸料収入が前年比5.8%増、中心部への車利用による人流の増加により駐車場収入は前年比18.3%増となり、全体で11.5%増となった。
b, c, g	費用面については、道路占用料の増加やエネルギー価格高騰による光熱費の大幅増があったものの、設備更新費用の抑制等により、営業費用の増を前年比5.6%に留めることができたため、当期純利益は約7,500万円増となった。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	3,111,540	3,193,512	(+81,972)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	63.9%	63.9%	(+0.0%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	86.9%	117.1%	(+30.2%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	143.5%	139.5%	(▲4.0%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	2.6%	0.1%	(▲2.5%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	41,850千円	47,013千円	(+5,163千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	13.7%	12.0%	(▲1.7%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	3,044千円	3,237千円	(+193千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	7.5%	7.0%	(▲0.5%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね健全	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
理由	<p>「健全性」について、流動比率や固定比率が評価基準を満たしていないものの、自己資本比率は引き続き60%を超えているほか、剰余金や借入金依存度は問題ない水準となっている。</p> <p>「生産性」については、人件費率及び管理費率は改善されている。</p> <p>「自立性」については、市への財政的な依存はない。</p> <p>以上から、経営状況は概ね健全であると認められる。</p>					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1) 出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○出資比率の維持						
①	本市出資金	目標	<del>123,000千円</del>	123,000千円	123,000千円	123,000千円
		実績	123,000千円	123,000千円	123,000千円	
		評価		達成	達成	
②		目標	<del></del>			
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (2) 人的関与

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○必要な人的関与の継続						
①	本市派遣職員数	目標	<del>0</del>	0	0	0
		実績	0	0	0	
		評価		達成	達成	
②	本市職員の役員就任数	目標	<del>1</del>	1	1	1
		実績	1	1	1	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○公共地下通路及び地下駐車場の適切な管理運営						
①	地下街災害件数（年間）	目標	/	0	0	0
		実績	0	0	0	
		評価	/	達成	達成	
②	防災訓練の実施回数（年間）	目標	/	2	2	2
		実績	2	2	2	
		評価	/	達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

### (4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○さっぽろ地下街テナントの賃借管理及び地下駐車場の運営による安定した事業収入の確保						
①	公共地下駐車場の事業収入（単位：千円）	目標	/	368,000	400,000	400,000
		実績	308,842	344,409	407,567	
		評価	/	未達成	達成	
②		目標	/			
		実績				
		評価	/			
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

### (5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○運営状況に関する情報の共有化、定期監査実施の継続						
①	取締役会の開催回数（年間）	目標	/	5	5	5
		実績	5	5	5	
		評価	/	達成	達成	
②	外部監査回数（年間）	目標	/	3	3	3
		実績	3	3	3	
		評価	/	達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

### (6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○障がいのある方の自立支援						
①	障がい者就労施設からの物品調達（契約金額、税抜）	目標	/	50,000円	50,000円	50,000円
		実績	71,200円	14,600円	53,000円	
		評価	/	未達成	達成	
②		目標	/			
		実績				
		評価	/			
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						



# 事業評価 ( 1 ) さっぽろ地下街公共通路・店舗等賃貸管理

1. 事業概要	事業所管課： 経) 経営支援・雇用労働担当部商業・経営支援課	担当： 西出	電話： 211-2372
(1)事業内容	(1)地下公共通路及びそれに付帯する店舗等の維持管理及び賃貸事業 ・さっぽろ地下街は、東西に延びるオーロラタウンと、南北に延びるポータウンの2つのストリートで構成されている。  ①オーロラタウン (店舗数57 延長312m) 衣料品17店 雑貨・身廻品14店 文化品2店 食品7店 飲食・喫茶9店 サービスほか8店  ②ポールタウン (店舗数75 延長400m) 衣料品18店 雑貨・身廻品25店 文化品5店 食品9店 飲食・喫茶11店 サービスほか 7店  合計 (店舗数132) 衣料品35店 雑貨・身廻品39店 文化品7店 食品16店 飲食・喫茶20店 サービスほか15店		
(2)事業目的	公共地下通路及びそれに付帯する店舗等の防災面や通行の安全性を確保しつつ、天候に左右されることなく、安心して買い物や都心内拠点間通行ができる商店街として、都心部の魅力を高める。		
(3)事業開始	昭和46年(1971年) 11月16日		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位: 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		1,436,995 ( 78.0% )	1,578,350 ( 78.1% )	(+141,355)
市補助金・交付金・負担金	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入 (補助金除く)	1,436,995	1,578,350	(+141,355)	
	その他収入	0	0	(0)	
費用 (支出)	費用 (支出)	1,616,031	1,714,522	(+98,491)	
	事業費	1,482,091	1,575,337	(+93,246)	
	管理費等	133,940	139,185	(+5,245)	
収支差		▲ 179,036	▲ 136,172	(+42,864)	
収支比率		88.92%	92.06%	(+3.14%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	防災訓練の実施	2	2	2	2
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	災害件数	0	0	0	0
②	地下街年間売上 (百万円)	8,021	10,560	10,143	10,560
③					
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない  市民・観光客に公共地下通路等を安心・安全に利用していただくために、春季と秋季の年2回防災訓練を実施しており、災害件数はゼロを維持している。また、従業員に対し、AED講習会を実施することで、安全に対する意識向上に取り組んでいる。これらの取組により、市民・観光客が安心してさっぽろ地下街を訪れることができる環境づくりを行っている。 以上のことから、当該団体の事業効果は、事業目的に対し十分得られているものと認められる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  新型コロナウイルス感染拡大の影響が残る中で、年間売上は目標値を下回ったものの、事業収入の増加 (R3年度比で約10%) により収支差は改善されており、駐車場賃貸事業の収支も踏まえると収支状況は概ね良好であると認められる。

## 事業評価 ( 2 ) 駐車場賃貸業務

1. 事業概要	事業所管課： 経) 経営支援・雇用労働担当部商業・経営支援課	担当： 西出	電話： 211-2372
(1)事業内容	大通地下駐車場（収容台数366台）の運営管理		
(2)事業目的	都心部の中核となる駐車場として、買物客や観光客、ビジネス客といった幅広い利用者のニーズに対応し、利便性を高める。		
(3)事業開始	昭和46年(1971年) 11月16日		

### 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位：千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		344,409 ( 18.7 % )	407,567 ( 20.2 % )	(+63,158)
市補助金・交付金・負担金	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	344,409	407,567	(+63,158)	
費用(支出)	費用(支出)	140,222	140,434	(+212)	
	事業費	140,222	140,434	(+212)	
	管理費等	0	0	(0)	
収支差		204,187	267,133	(+62,946)	
収支比率		245.62%	290.22%	(+44.60%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	利用しやすい駐車場を目指す(料金設定、プリペイドカード導入など)。	通年	通年	通年	通年
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	駐車場事業収入(千円)	344,409	369,000	407,567	410,000
②	年間利用台数(台)	476,790	515,000	579,071	595,000
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	利用者の多様なニーズに対応できるよう、30分料金導入など様々な料金設定を行うとともに、多様な支払方法を用意している。また、ベビーカー利用者のニーズにも配慮し、ひろびろスペース(通常3台分の駐車マスを2台分として車間にゆとりを持たせたスペース)の提供も行っている。これらの取り組みは、事業目的に対し十分な効果を得られているものと認められる。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	事業収入の増加(R3年度比で約18%)により、事業収入は目標値を大幅に上回っている。また、事業費も微増に抑えたことで、十分な収支を確保している。

# 貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
<b>【流動資産】</b>	633,802	<b>【流動負債】</b>	541,100
現金及び預金	532,264	1年内返済長期借入金	5,858
未収入金	49,960	未払金	155,150
有価証券	30,000	未払法人税等	49,189
その他流動資産	21,577	未払消費税等	21,398
<b>【固定資産】</b>	5,179,177	前受金	125,550
(有形固定資産)	3,307,986	預り金	74,592
建物	3,018,052	賞与引当金	9,360
構築物	93,903	修繕引当金	100,000
器具備品	70,422	<b>【固定負債】</b>	1,558,366
土地	4,500	受入保証金	23,401
リース資産	21,506	受入敷金	1,473,201
建設仮勘定	99,601	退職給付引当金	43,242
(無形固定資産)	564,422	長期未払金	18,520
電話加入権	1,693	負債の部合計	2,099,466
ソフトウェア	248	純資産の部	
施設利用権	562,480	<b>【株主資本】</b>	3,713,512
(投資その他の資産)	1,306,768	(資本金)	520,000
投資有価証券	160,673	資本金	520,000
差入保証金	10,131	(利益剰余金)	3,193,512
保証金返還積立金	1,072,019	利益準備金	130,000
長期前払費用	4,966	別途積立金	2,418,800
長期繰延税金資産	58,831	繰越利益剰余金	644,712
その他	146	純資産の部合計	3,713,512
資産合計	5,812,979	負債・純資産合計	5,812,979



# 損 益 計 算 書

自 令和 4年 4月 1日  
至 令和 5年 3月 31日

科 目	金 額	
		千円
【 売 上 高 】		1,985,917
【 売 上 原 価 】		1,715,771
売 上 総 利 益		270,146
【販売費及び一般管理費】		139,185
営 業 利 益		130,961
【 営 業 外 収 益 】		
受取利息・配当金	680	
雑 収 入	34,947	35,628
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	1,339	1,339
経 常 利 益		165,250
【 特 別 損 失 】		
固 定 資 産 除 却 損	1,299	1,299
税引前当期純利益		163,950
法人税、住民税及び事業税		54,323
法 人 税 等 調 整 額		△ 3,545
当 期 純 利 益		113,172